

## Q&Aから読み解く修飾詞句と助動詞

今回は、固有名詞でよく出てくるサイト名の表現方法や、しばしば混同されがちな one と that の用法、must, should などの助動詞の使い分けについての質問から読み解いていきましょう。

### 【質問】

次の日本語の英訳について質問させていただきます。

日本語：XXX社のWebサイト

英 訳：the XXX website

Microsoft の英文サイトを検索しますと、“Microsoft website” となっており、定冠詞 the は付いていませんでした。「XXX社のWebサイト」というときに、私は「既存」のサイトの意味で定冠詞 the を付けて “the XXX website” としたのですが、この場合 the は省略した方がよいのでしょうか。

### 【回答】

上記のご質問は冠詞の省略の問題というよりは、むしろ固有名詞で使われる、名詞を修飾する語句の用法に関するものといえます。まず、Microsoft website は、正式には Microsoft's website (Microsoft のWebサイト) と書きます。これは、our website (当社のウェブサイト) と同等の所有格の表現になり、the などの定冠詞は不要です。したがって、Microsoft's website の形の場合は無冠詞とするのが正しい書き方です。

Microsoft website と書いた場合も、Microsoft's website の簡略表記であると考えられます。この場合、上記と同じ理由で所有格に準じますので定冠詞は不要です。

以上まとめると、「XXX社のWebサイト」の英訳は XXX's website (○) または XXX website (○) となります。

なお、対象となるWebサイトが複数あると考えられる場合は、XXX's websites または XXX websites となります。

### 【質問】

次の原文の英訳では、the capacity を繰り返す代わりに that を用いています。that の代わりに one (代名詞用法) を用いて、別訳のように書いては間違いなのでしょうか。

原文：私のUSBメモリの容量は、あなたのUSBメモリのよりも大きい。

訳文：The capacity of my USB memory is larger than **that** of yours.

別訳：The capacity of my USB memory is larger than **one** of yours.

### 【回答】

名詞の繰り返しを避ける that (those) と one (ones) の使い分けは以下の通りです。上記の訳文において that を one に置き換えることはできません。

that (複数の場合は those)

繰り返しを避ける that は、1つの英文中において、すでに述べた名詞の繰り返しを避ける際に使います。英文中で限定される名詞、つまり形容詞句(節)などの修飾語句が付く名詞であることが条件であり、その場合は基本的に「定冠詞 the + 名詞」が that で置き換えられることとなります。その際、可算名詞、不可算名詞の両方について代用できます。

one (複数の場合は ones)

一方 one は、不特定でかつ同種の名詞(不定冠詞 a(n) + 名詞の形)で、可算名詞についてのみ代用可能です。つまり、**that が限定(特定)されているのに対し、a(an) という不定冠詞のニュアンスを表したい場合に one が使われます。**ちなみに one を「不定代名詞」と呼んでいます。

### 【質問】

原文：長さは5センチ単位で指定します。

訳文：The length must be specified in terms of 5 centimeters.

上の訳文で、must be とすると強すぎるでしょうか。must be よりも should be のほうがよいでしょうか。絶対行う必要のあるという意味で have to が使えるでしょうか。それとも読む側に判断をまかせればどれでも構わないのでしょうか。

### 【回答】

一般に should は、「できればしたほうがよい」という弱い「推奨」ですので、読者はそれに従わなくてよいとされています。したがって、「してもしなくてもよい」という文脈であれば should be を用いてください。must や have to は命令文に準じるとされています。もし「絶対行う必要のある」場合なら、must be か直接命令形にしてください。強い義務なら shall be となります。